



# SETAGAYA 区のおしらせ せたがや

4/15

令和4年(2022年)  
No.1837

## 令和4年度予算 地域社会から 福祉を向上させる予算

一般会計予算額 3,336億円

第1回区議会定例会において、令和4年度当初予算が可決・成立しました。同予算は、新たにスタートした「世田谷区未来つながるプラン2022-2023(実施計画)」に掲げる4つの政策の柱に基づき、コロナ後を見据え、誰もが安全で安心に暮らせるまちの実現をめざす予算として編成しました。

※詳しくは、区のホームページをご覧ください。

問 財政課  
☎5432-2044  
FAX 5432-3011

### 重点分野の取組み

#### 健康・福祉、子ども若者

582億円

- 主な事業**
- ◆ 感染拡大を防ぐ保健所体制及び検査体制の確保  
● 防疫体制の確保及び相談窓口の運営、自宅療養者支援  
● 有症状者や濃厚接触者のPCR検査  
● 社会的インフラを維持するためのPCR検査・抗原定性検査
  - ◆ 介護職の住まい支援  
● 特別養護老人ホーム・地域密着型サービス事業所への宿舍借り上げ支援
  - ◆ 医療的ケアを必要とする障害児(者)への支援  
● 医療的ケア相談支援センターの運営  
● 医療的ケア児・者を受け入れる施設への支援 など
  - ◆ ひきこもり相談窓口の一元化  
● 「ぶらっとホーム世田谷」と「メルクマールせたがや」が連携した年齢を問わない支援



- ◆ ひとり親世帯への支援  
● 住宅セーフティネット制度活用  
● 家賃低廉化補助  
● 東京都住宅供給公社の住宅の空き住戸を活用した居住支援 など
- ◆ 私立幼稚園教育の振興・充実  
● 私立幼稚園等保護者への保育料負担軽減補助の拡充 など

#### 教育

81億円

- 主な事業**
- ◆ 不登校児童・生徒への支援  
● 不登校特例校分教室(中学校)の開設  
● 不登校支援グループの設置 など
  - ◆ ICT基盤を活用した新たな教育の推進  
● 統合型校務支援システムの導入  
● タブレット端末を活用した学習の推進 など



#### 安全・安心、都市づくり

201億円

- 主な事業**
- ◆ 災害に強い都市基盤の整備  
● 都市計画道路等の用地取得・整備 など
  - ◆ 豪雨対策  
● 土のう等水防資機材の配置、河川・下水道整備 など
  - ◆ みどりのまちづくり  
● 公園や緑道の用地取得・整備  
● 公園拡張用地の暫定整備 など
  - ◆ 特殊詐欺被害防止に向けた取組み  
● ATMコーナーへの携帯電話抑止装置の設置による還付金詐欺対策 など



#### 暮らし・コミュニティ

22億円

- 主な事業**
- ◆ 産業振興  
● 地域連携型ハンズオン支援事業  
● せたがやPay・プレミアム付区内共通商品券の発行支援 など
  - ◆ 脱炭素に向けた省エネルギー化の推進と再生可能エネルギーの利用拡大  
● 気候危機対策基金の創設  
● 環境配慮型住宅リノベーション推進事業 など



#### その他

425億円

- 主な事業**
- ◆ DX推進方針に基づく主な取組み  
● まちづくりセンター等でのオンライン相談のモデル実施  
● くみん窓口等でのキャッシュレス決済の導入  
● まちづくりセンター等でのスマホ講座 など
  - ◆ 本庁舎等整備(5年7月1期工事竣工予定)
  - ◆ 公共施設等総合管理計画に基づく整備

◆ 一般会計予算額…3,336億円

◆ 特別会計予算額…1,788億円

- 国民健康保険事業会計…824億円
- 介護保険事業会計…699億円
- 後期高齢者医療会計…234億円
- 学校給食費会計…31億円

◆ 一般会計と特別会計の合計…5,124億円

◆ 特別区債残高・基金残高(令和4年度末の見込み残高)

特別区債残高	561億円
基金残高	1,173億円

主な内容 | 本庁舎等整備に伴い部署が移転します…2面 | 夜間・休日の急病のときは…8面 | 新型コロナワクチン接種に関するお知らせ…8面

#### 地域社会から 福祉を向上させる予算

3月29日、区議会が令和4年度当初予算が可決されました。今年度は「地域社会から福祉を向上させる予算」と名付けました。まん延防止等重点措置が全面解除となりましたが、感染者数は十分に減ることなく、リバウンドの心配もされています。引き続き、迅速な検査と治療に結びつける保健所体制も維持していきます。

また、高齢者施設で介護にあたる職員のための住まい支援や、年齢を問わないひきこもり相談窓口の一元化に取り組みます。教育分野ではICT教育基盤の充実や、不登校児童・生徒への支援を強化します。せたがやPayの普及にも力を入れ、地域経済を支援します。

さらに、気候危機に対応する基金を設立し、環境配慮型住宅リノベーション事業を強化します。また、みどり豊かな「玉川野毛町公園」や「上用賀公園」の拡張を進め、緑化と合わせて豪雨対策にも効果のあるグリーンインフラに取り組みます。

区の予算規模は、新型コロナウイルス対策などにより年々増加していますが、区の貯金にあたる「基金残高」は117.3億円で、借金にあたる「特別区債残高」56.1億円を大幅に上回り、健全財政を維持しています。

コロナ禍に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が加わり、エネルギー価格の高騰や、急激な円安による物価高など不確定要素も増えています。引き続き、区民の生命と健康、暮らしを守るために行政運営にあたります。

世田谷区長 保坂展人